

日本語教育史研究会

2020 年度研究発表会

2021 年 1 月 31 日

日本語教育史研究会運営委員会

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日本語教育史研究会 2020 年度研究発表会を下記の要領で開催いたします。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時:2021 年 3 月 6 日(土)13:00~17:00

開催方法:Zoom によるオンライン開催(申込者に Zoom リンクを後日発送)

申込:下記のグーグルフォームに必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/PVbCqpxm8JQXfcUM6>



申し込みフォーム

プログラム

会員以外の方も
どなたでも参加できます!

13:00~13:05 挨拶

小川 誉子美 (横浜国立大学・日本語教育史研究会会長)

13:05~13:30 萌芽的研究発表 1

モンゴルにおける日本留学動機の変遷と日本語教育の関わり -日本留学経験者の聞き取り調査から-

今井 智絵 (国際交流基金ジャカルタ日本文化センター)

本発表では、1970 年代から 2000 年代に日本に留学したモンゴル人への聞き取り調査から、留学動機の変遷と日本語教育の影響について論じる。留学動機には社会体制が影響し、社会主義時代の「政府の決定による留学」から民主化後の「日本語学習先行型」及び「留学決意先行型」に変化していった。留学動機の背景には、「日本語教育が盛んな土壌」や「日本留学経験者の活躍」があった。このような研究を通して、日本語教育と留学史の関連についても考えたい。

13:30~13:55 萌芽的研究発表 2

「満鉄」付属地における日本語教育の特殊性—公学堂日本語教科書分析から見る—

張越 (横浜国立大学大学院生)

1906年から、日本は南満洲鉄道株式会社（満鉄）を通じて中国東北部の鉄道沿線附属地で行政権のみによる統治を始めた。教育権も持ち、附属地で中国人対象の公学堂を開設して、日本語教育を行っていた。本研究はここで使用された日本語教科書の本文題材を分析し、他の日本植民地の初等教育の日本語教科書と比較した。その結果、満鉄は中国側の反日運動や教育権回収運動の影響を受け、教科書の日本に関する内容を削除せざるを得なかったため、他の植民地と比べて日本色の薄い教育が行われていたという特殊性が明らかになった。

13 : 55～14 : 20 萌芽的研究発表 3

「1930年代のエジプトにおける日本語教育の実態」の一考察—アジア歴史資料センターの史料「本邦国語関係雑件 第一巻 18『エジプトニ於ケル日本語関係』」の分析を通して—

會田篤敬（山梨大学）

本研究では、「1930年代のエジプトにおける日本語教育の実態」をアジア歴史資料センターの史料「本邦国語関係雑件 第一巻 18『エジプトニ於ケル日本語関係』」をもとに調査した。同史料では当時のエジプトにおける日本語教育に関する5つの内容（1.日本語教育の目的、2.大学における教育と試験、3.日本への派遣計画、4.語学学校での日本語科設立計画、5.同計画に伴う文化事業助成費交付申請書と事業計画及予算書）が見られた。

14 : 20～14 : 45 萌芽的研究発表 4

タタールスタン共和国における日本語教育の変遷—カザン連邦大学に焦点をあてて—

神代寿美枝（横浜国立大学大学院生/カザン連邦大学）

アリーナ・ハリウリナ（カザン連邦大学）

タタールスタン共和国における日本語教育は1998年に開始された。当初は東洋言語の1つとして学ばれ、学習者は20数名であった。それから20年の時を経て、現在の学習者数は200名を超え、2019年には日本語専攻のコースも開設された。現地で日本語教育が確立しつつある。これら日本語教育の変遷を、日露青年交流センターの資料や日本人派遣教師、ロシア人教師のインタビュー調査をもとに考察する。

14 : 45～15 : 10 ブレイクアウト（参加者自己紹介）

15:10~16:30 ラウンドテーブル「日本語教育史研究の進め方(仮)」

◆趣旨説明

それぞれの地域の日本語教育史研究に取り組む専門家が登壇し、資料や調査・研究の進め方について紹介、討論者とともに議論します。これから日本語教育史研究を始めたいとお考えの方も歓迎します。

◆登壇者及び発表題目

酒井順一郎（九州産業大学）「教育史研究の前提と現状 - 国際・学際的視点から - 」

嶋津拓（埼玉大学）「既存資料を日本語教育史研究の観点から読むー三島由紀夫『豊饒の海』の創作ノートについてー」

清水知子（横浜国立大学非常勤講師）「日本語教育史研究のきっかけを振り返る」

合津美穂（信州大学非常勤講師）「私の台湾日本語教育史研究」

◆討論者 川上尚恵（神戸大学） 竹口智之（関西大学）

16:30~17:00 総会

以上

問い合わせ：日本語教育史研究会事務局（nihongokyoikushikenkyukai@gmail.com）